



DS2800 ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

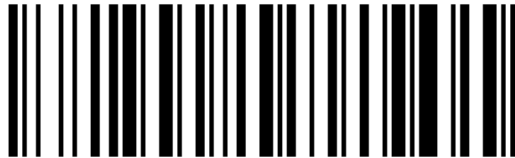
目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	13
5 Wi-Fi 送信モード	13
5.1 デバイス ID の変更	13
5.2 データアップロード形式	13
5.3 データ受信フォーマット	14
5.4 データ転送プロトコル	15
5.5 ネットワーク構成	31
6 藍牙モード	33
6.1 藍牙 HID	33
6.2 藍牙 SPP	34
6.3 藍牙 BLE	34
6.4 ペ어링情報をクリアする	34
6.5 iOS キーボードのポップアップ/非表示	34
6.6 藍牙キーボードの送信速度	35
6.7 藍牙名の変更	36
7 キーボード設定	36
7.1 HID Keyboard General Setting	36
7.2 キーボードの言語設定	43
8 キーボード言語	43
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	43
9 データ編集	49
9.1 標準データ編集設定	49
9.2 拡張データ編集設定	56
9.3 端末文字設定	58
9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	59

10 読書モード	60
10.1 バーコードデコード読み取りモード	60
11 MOD の設定	62
11.1 デバイスの機能設定	62
11.2 トリガー設定	63
11.3 エンジン Code ID	68
11.4 エンジン出力フォーマット	73
11.5 バーコード設定	74
11.6 エンジンセッティングコード	119
11.7 エンジンキャラクターテーブル	121
12 付録	126
12.1 文字検索テーブル	126

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

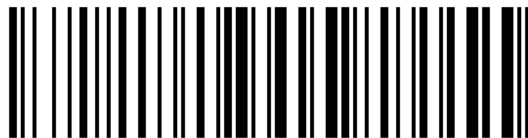
1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

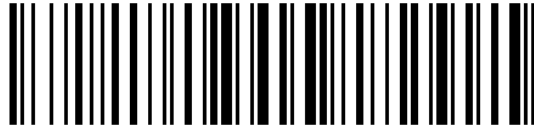
「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

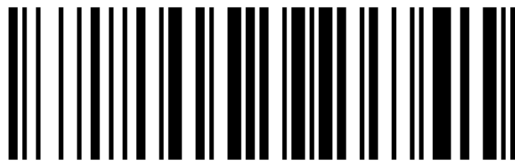
1.3 作業モード

i 注釈

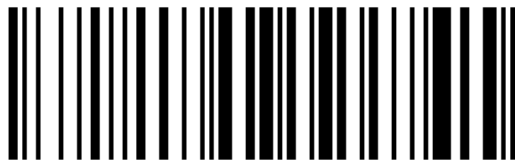
データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



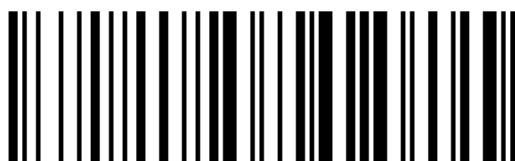
* 通常モード



ストレージモード



ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る

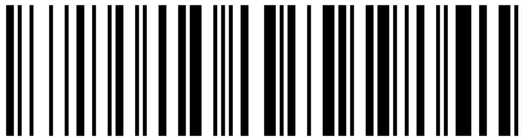


2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



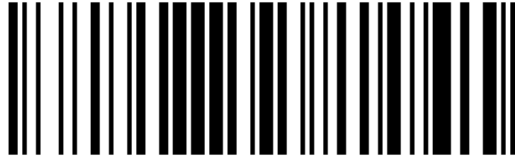
ミュート



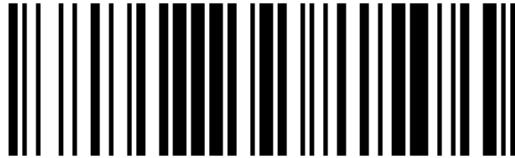
* 大音量



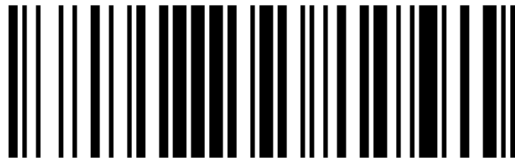
中程度の音量



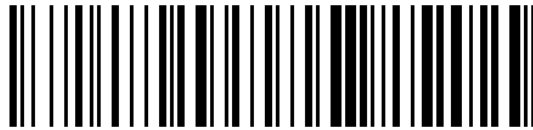
小さい音量



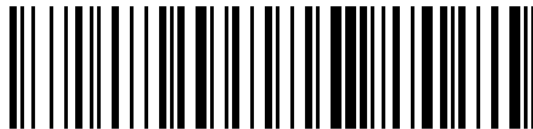
* 高音



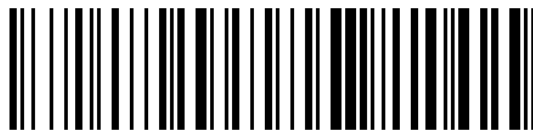
低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

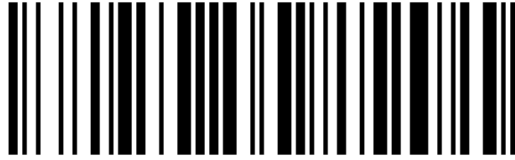


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

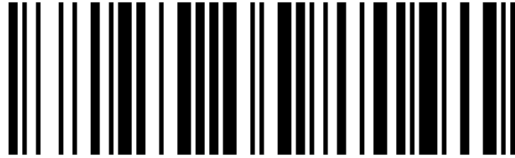
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビーブ	ワントーン (ツートーン)	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビーブ	1 音 (3 音)	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビーブ	短い音 (同じ音)	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビーブ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン (同トーン)	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音 (同音)	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音 (同音)	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。蓝牙モードをサポートするモデルは、蓝牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

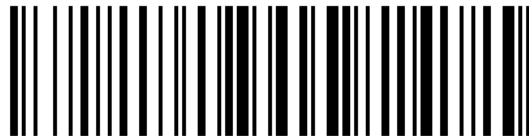
注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



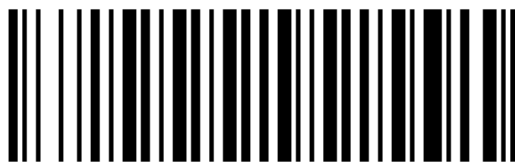
* USB キーボードモード



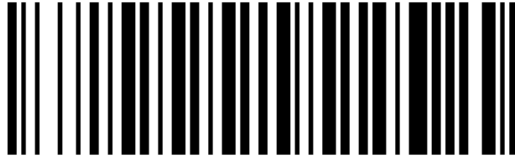
USB 仮想串口モード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です

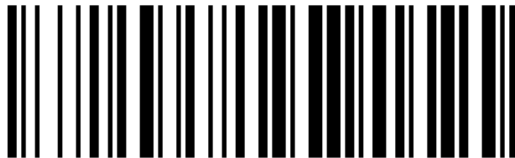


有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの蓝牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度

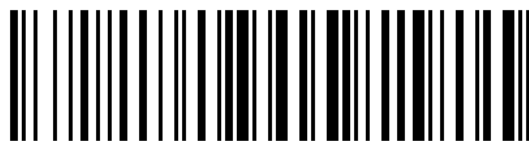


キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 Wi-Fi 送信モード

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 デバイス ID の変更

5.2 データアップロード形式

オリジナルのバーコードコンテンツ

i 例

```
{"ID":"680870"}
```



オリジナルのバーコードコンテンツ

Json 形式のコンテンツ

i 例

```
{"id":"C143F123","msg":{"ID":"680870"}}
```



Json 形式のコンテンツ

Json 形式 + コンテンツのエスケープ

i 例

```
{"id":"C143F123","msg":{"\\\\"ID\\"\\":\\"680870\\"}}}
```



Json 形式 + コンテンツのエスケープ

5.3 データ受信フォーマット

パラメータ名	タイプ	説明する
ply	Int	発音記号
msg	String	メッセージ内容

リスト 1: 戻り例

1

```
{"ply":2,"msg":"ABEF"}
```

発音記号

発音記号	音声コンテンツ
1	ブザーが鳴る
2	ブザーが 2 回鳴る
3	ブザーが 3 回鳴ります

5.4 データ転送プロトコル

TCP クライアントを使用したデータ転送

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

クイック設定

注釈

サードパーティソフトウェアを使用して TCP サーバーを構築する場合、このツールを使用して構成コードを生成できます。

プレゼンテーションソフト

- 以下のリンクをクリックしてデモソフトウェアをダウンロードしてください: [Netum Wi-Fi TCP サーバー](#)

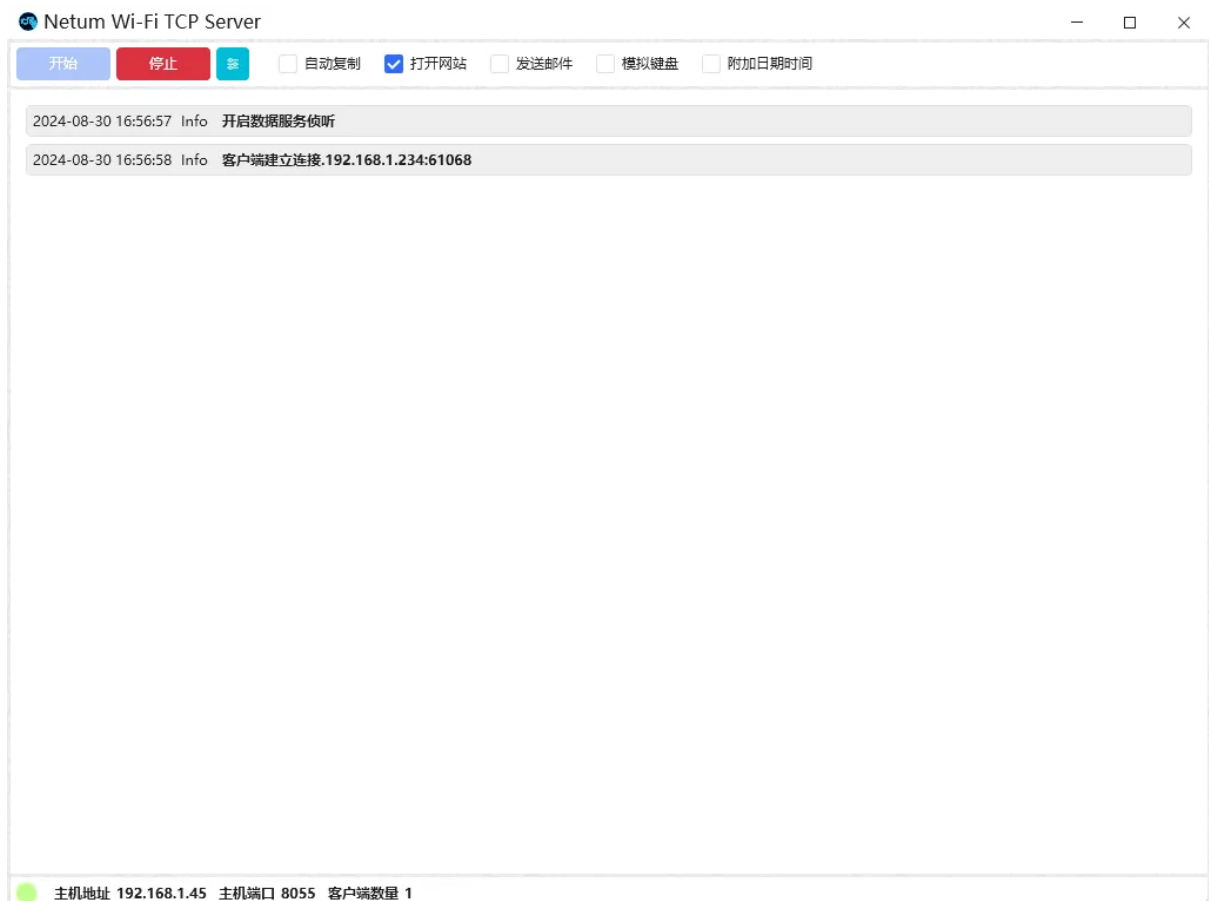
接続を確立する

1. デモソフトウェアをダウンロードし、ローカルディレクトリに解凍します。
2. デモソフトウェアを開き、コード読み取りデバイスが接続する必要がある Wi-Fi 情報と TCP サーバー情報を入力し、コード読み取りデバイスを使用して以下の QR コードをスキャンします。



TCP サーバー設定 QR コードの例

3. 「サービスの開始」をクリックするか、プログラムによって TCP サービスを開始します。
4. コード読み取りデバイスがソフトウェアによって提供される TCP サービスにアクティブに接続するまで待ちます。



TCP サーバーの実行例

注釈

- Host address: TCP サービスが存在するコンピューターの IP アドレス。
- Host port: TCP サービスによって監視されるポート番号。

TCP サーバーを使用してデータを送信します

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

クイック設定

注釈

サードパーティソフトウェアを使用して TCP クライアントを構築する場合、このツールを使用して構成コードを生成します。

プレゼンテーションソフト

- 以下のリンクをクリックしてデモソフトウェアをダウンロードしてください: [Netum Wi-Fi TCP クライアント](#)

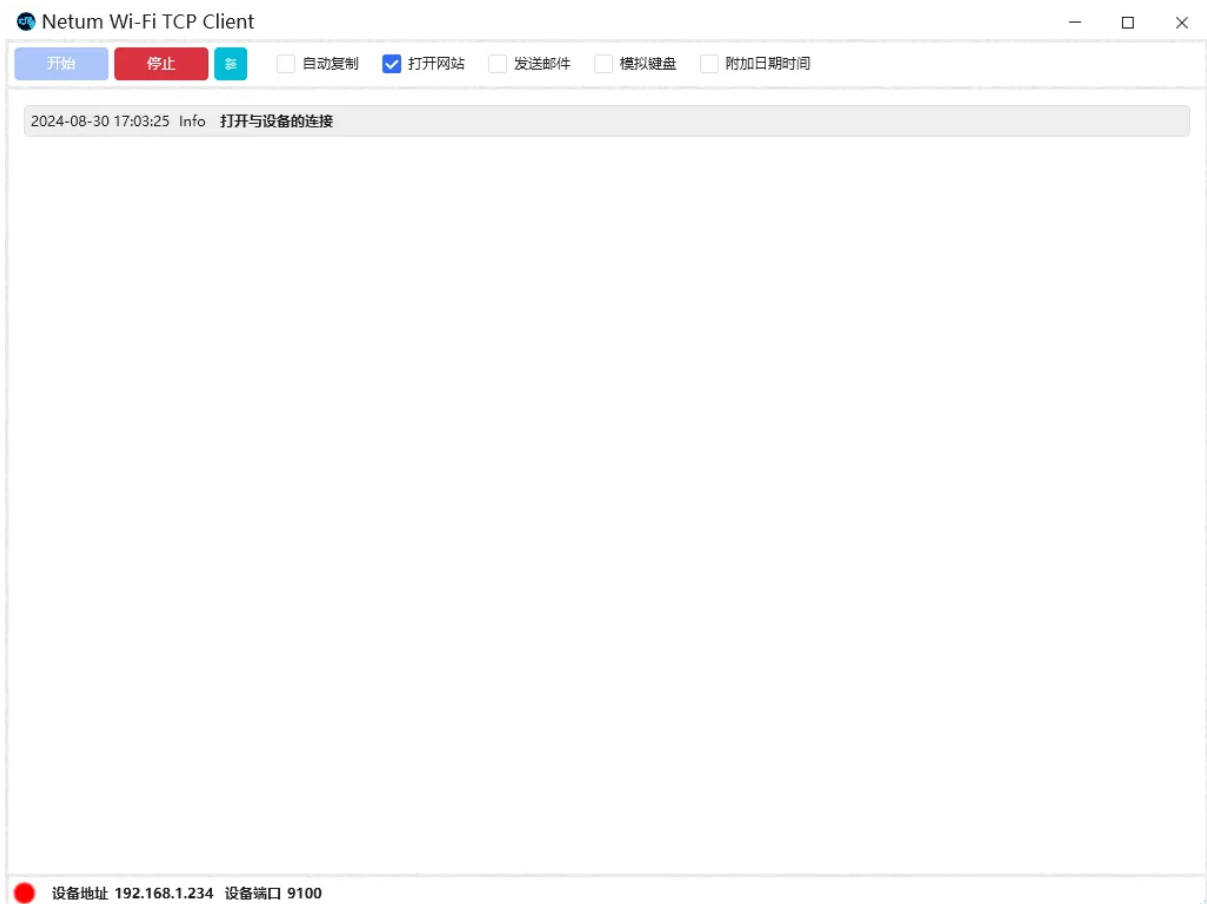
接続を確立する

1. デモソフトウェアをダウンロードし、ローカルディレクトリに解凍します。
2. デモソフトウェアを開き、コード読み取りデバイスが接続する必要がある Wi-Fi 情報、コード読み取りデバイスの IP アドレス、TCP サーバーポートを入力し、コード読み取りデバイスを使用して下の図の QR コードをスキャンします。



TCP クライアント構成の QR コードの例

3. スタートボタンをクリックするか、プログラムを通じて TCP クライアントを起動して、コード読み取りデバイスに接続します。
4. ソフトウェアがコード読み取りデバイスとの接続を確立した後、コード読み取りデバイスのプロンプトライトは点灯したままになります。



TCP クライアント接続例

注釈

- Device address: LAN 内のコード読み取りデバイスの IP アドレス。
- Device port: コード読み取りデバイスによって開かれた TCP サービスポート。

MQTT プロトコルを使用したデータ転送

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

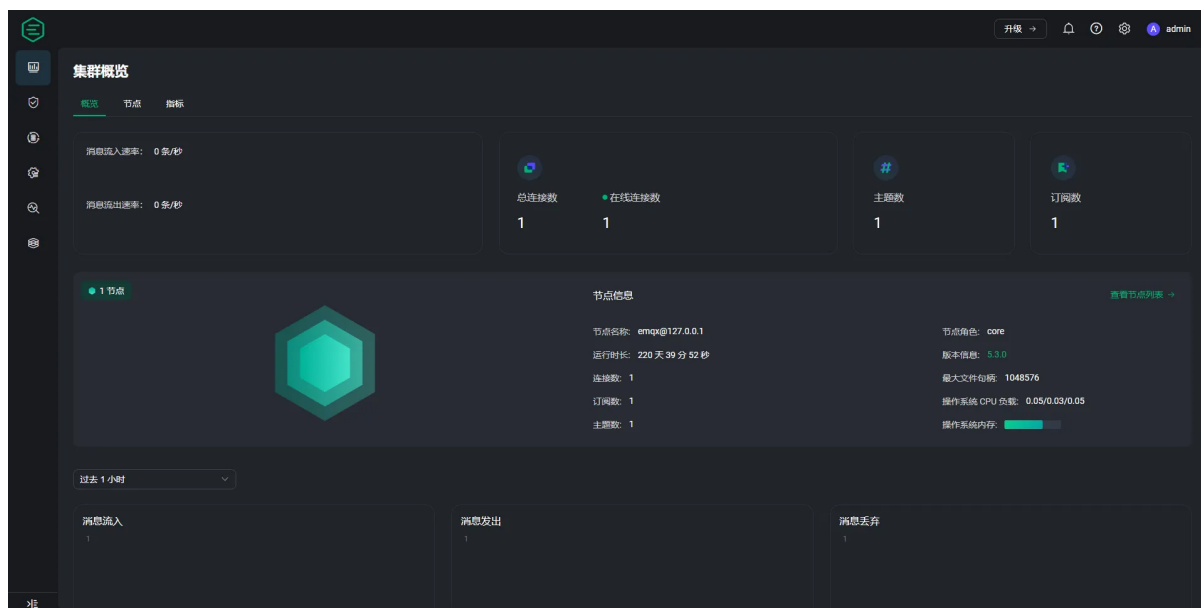
ブローカーサーバーを構築する

- サーバーを使用して MQTT ブローカーを構築すると、コード読み取りデバイスによってアップロードされたバーコードデータがサーバー経由で転送されます。

プレゼンテーションソフト

EMQX オープンソース版のダウンロードアドレス: [EMQX](#)

テストサービス



MQTT ブローカーテストサービス例

i 注釈

サーバー接続情報

- Host: mqtt.handy.pub
- Port: 1883
- Username: netum
- Password: netum@2022

テスト使用のみを目的としており、運用環境での使用は固く禁止されています。

コード読み取り装置の設定

Wi-Fi とブローカーを構成する

注釈

- コード読み取りデバイスは、デフォルトでポート 1883 を使用して MQTT ブローカーに接続します。
- コード読み取りデバイスによってサブスクライブされるデフォルトのトピックコンテンツは、device ID です。

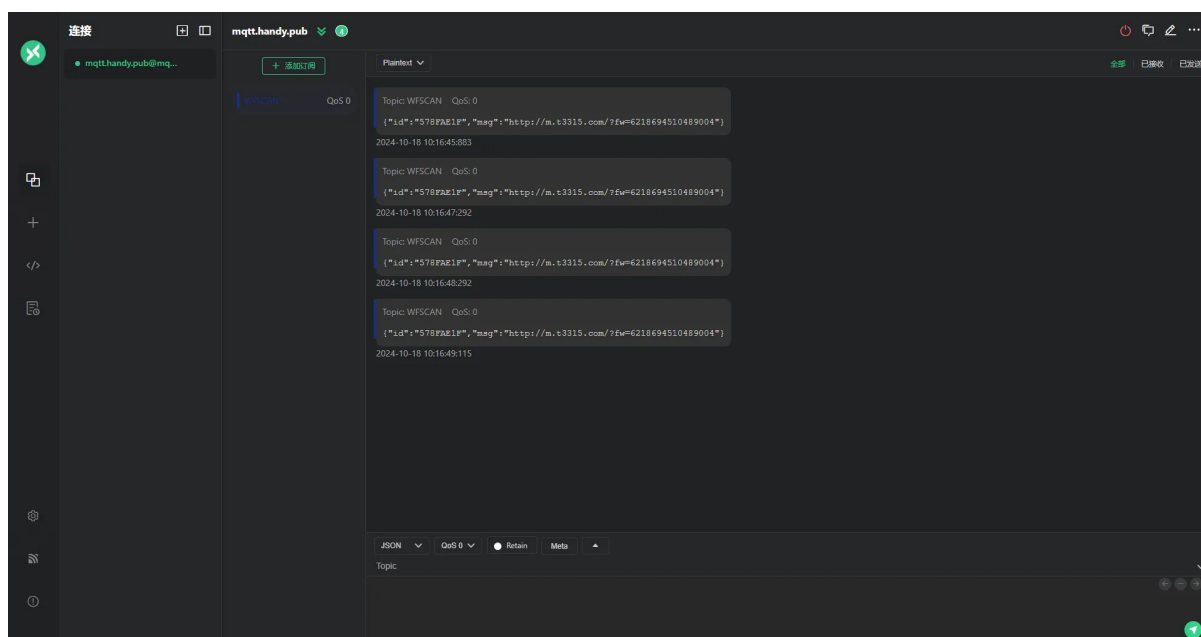
MQTT 接続ポートを変更する

コード読み取りデバイス公開テーマを変更する

コード読み取りデバイスのサブスクリプショントピックを変更する

データを受信する

- MQTT クライアントソフトウェア [MQTTX](#) を使用してブローカーサーバーに接続し、デコードデバイスがメッセージを公開するトピックにサブスクライブします。



MQTTX サブスクリプションの例

開発参考資料

- [MQTT クライアントライブラリ](#)
- [MQTT チュートリアル](#)

HTTP プロトコルを使用してデータを転送する

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

REST API を作成する

簡単な説明

- コード読み取りデバイスのデータアップロードインターフェイス。

リクエスト URL

- `https://httpbin.org/post`

リクエストモード

- POST

リクエストパラメータ

パラメータ名	必須	タイプ	説明する
id	はい	string	デバイス ID
msg	はい	string	スキャン内容

リスト 2: リクエスト例

1 `{"id": "04B9023A", "msg": "1234567890"}`

戻りパラメータ

詳細については、[データ受信フォーマット](#) を参照してください。

コード読み取り装置の設定

コード読み取りデバイスによって要求された **Content-Type** を設定します



Application/Json

コード読み取り装置が送信するデータ形式を設定します。



Json 形式のコンテンツ

Wi-Fi と API URL アドレスを構成する

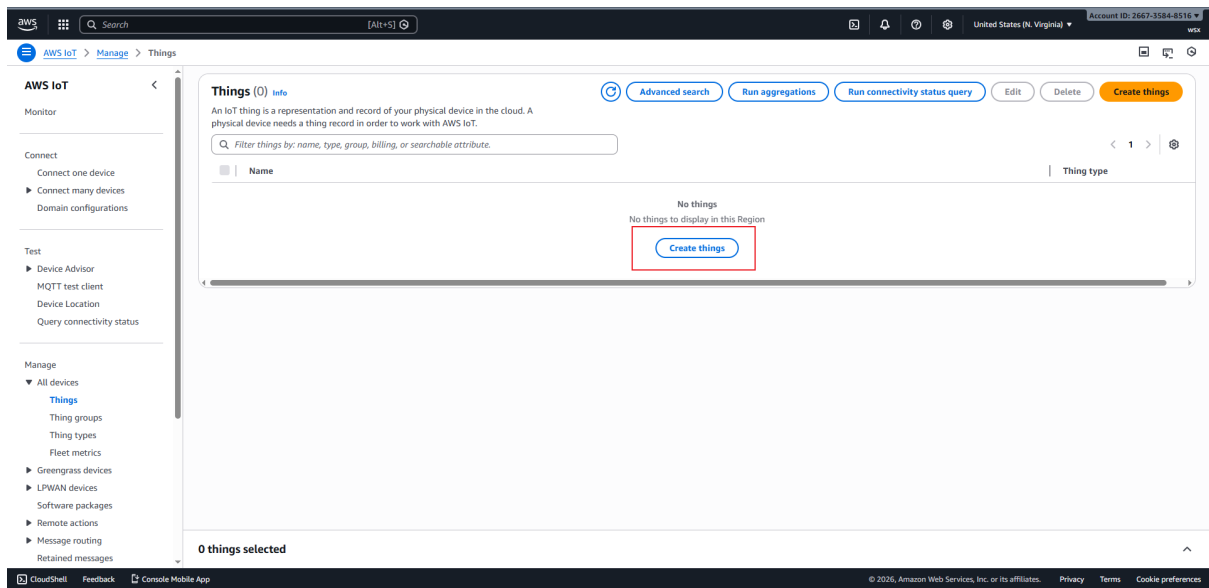
MQTTs プロトコルを使用して AWS IoT にデータを転送する

i 注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

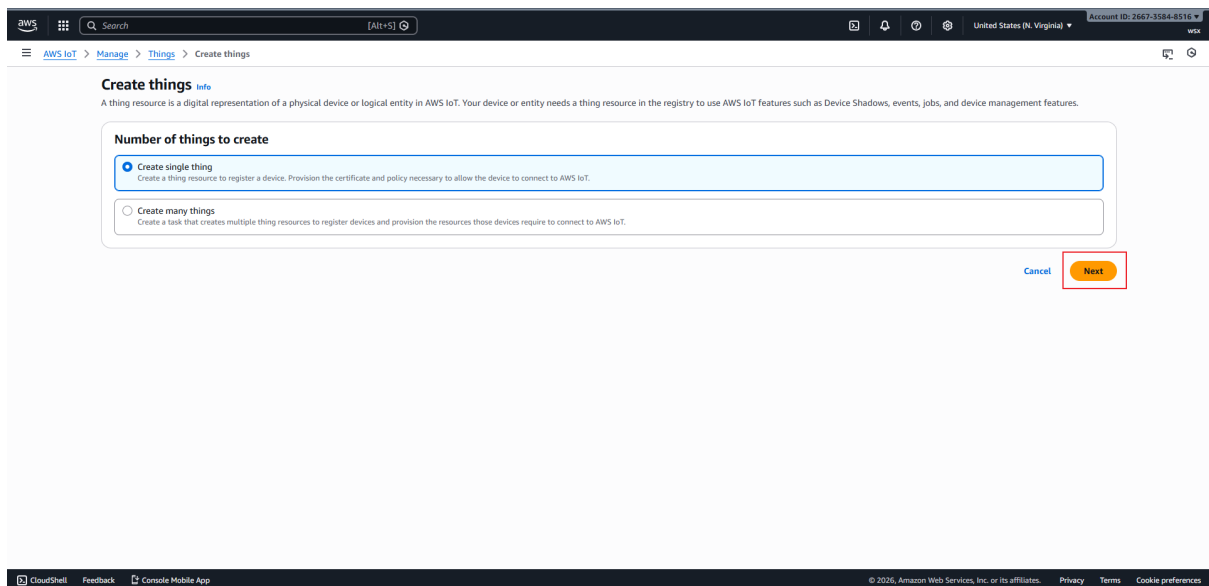
AWS IoT ページでデバイスを登録し、クライアント証明書と秘密キーを取得します。

- [Things](#) をクリックしてページに入ります。



モノのページ

- [Create Things] をクリックして、デバイス作成ページに入ります。



「モノの作成」ページ

- [Next] をクリックして、デバイスのプロパティ設定ページに入ります。

Step 1
 ● Specify thing properties
 ○ Step 2 - optional
 ○ Step 3 - optional
 ○ Attach policies to certificate

Specify thing properties [Info](#)

A thing resource is a digital representation of a physical device or logical entity in AWS IoT. Your device or entity needs a thing resource in the registry to use AWS IoT features such as Device Shadows, events, jobs, and device management features.

Thing properties [Info](#)

Thing name

Enter a unique name containing only: letters, numbers, hyphens, colons, or underscores. A thing name can't contain any spaces.

Additional configurations

You can use these configurations to add detail that can help you to organize, manage, and search your things.

- ▶ Thing type - optional
- ▶ Searchable thing attributes - optional
- ▶ Thing groups - optional
- ▶ Billing group - optional
- ▶ Packages and versions - optional

Device Shadow [Info](#)

Device Shadows allow connected devices to sync states with AWS. You can also get, update, or delete the state information of this thing's shadow using either HTTPs or MQTT topics.

☒ No shadow
☐ Named shadow
 Create multiple shadows with different names to manage access to properties, and logically group your devices properties.
☐ Unnamed shadow (classic)
 A thing can have only one unnamed shadow.

Specify things properties

- モノの名前を入力した後、Next をクリックしてデバイス証明書の構成ページに入ります。

Step 1
 ○ Specify thing properties
 ● Configure device certificate
 ○ Step 3 - optional
 ○ Attach policies to certificate

Configure device certificate - optional [Info](#)

A device requires a certificate to connect to AWS IoT. You can choose how to register a certificate for your device now, or you can create and register a certificate for your device later. Your device won't be able to connect to AWS IoT until it has an active certificate with an appropriate policy.

Device certificate

☒ Auto-generate a new certificate (recommended)
 Generate a certificate, public key, and private key using AWS IoT's certificate authority.

☐ Use my certificate
 Use a certificate signed by your own certificate authority.

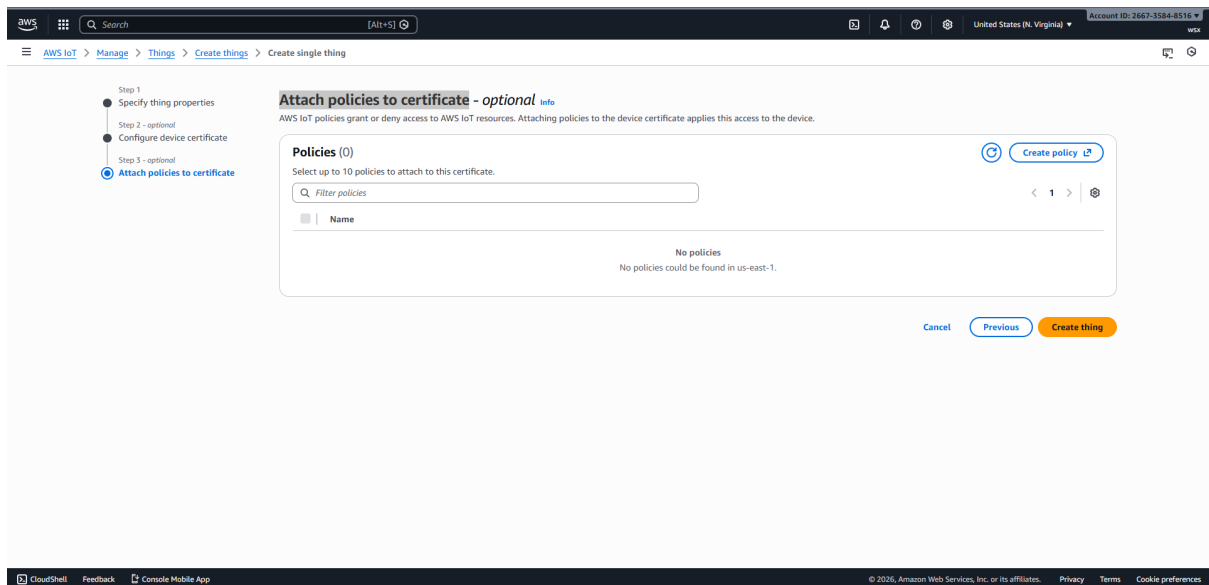
☐ Upload CSR
 Register your CA and use your own certificates on one or many devices.

☐ Skip creating a certificate at this time
 You can create a certificate for this thing and attach a policy to the certificate at a later time.

[Cancel](#)
[Previous](#)
[Next](#)

Configure device certificate

- [Next] をクリックして、証明書ポリシーバインディングページに入ります。

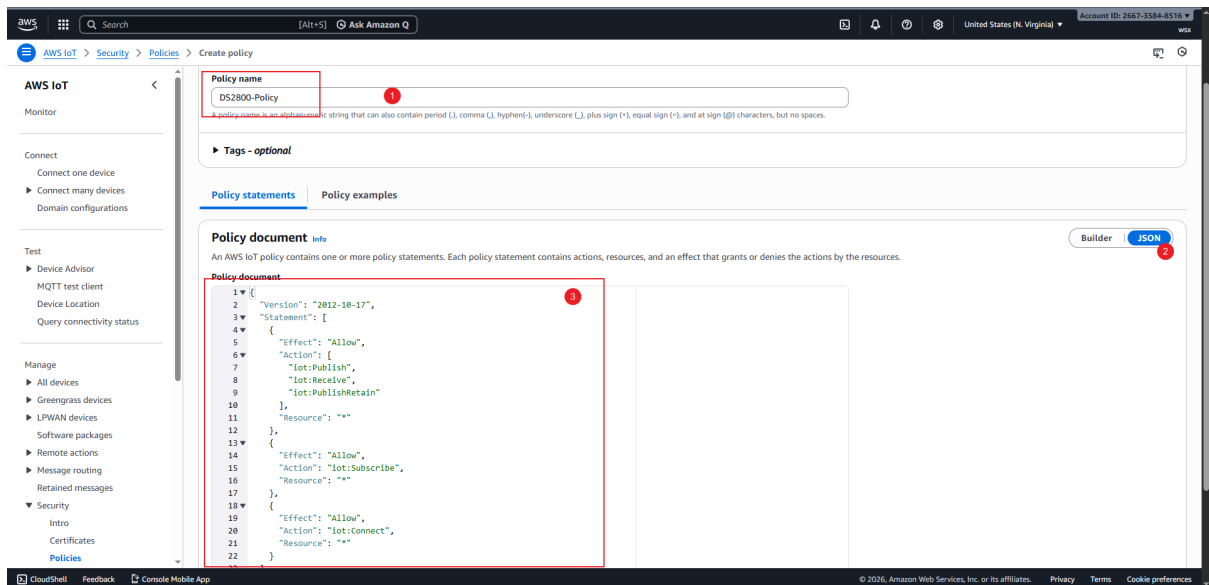


Attach policies to certificate

- [Create policy] をクリックしてポリシー作成ページに入り、ポリシー名を入力し、次の内容を JSON 入力ボックスにコピーして、[Create] をクリックして作成を完了します。

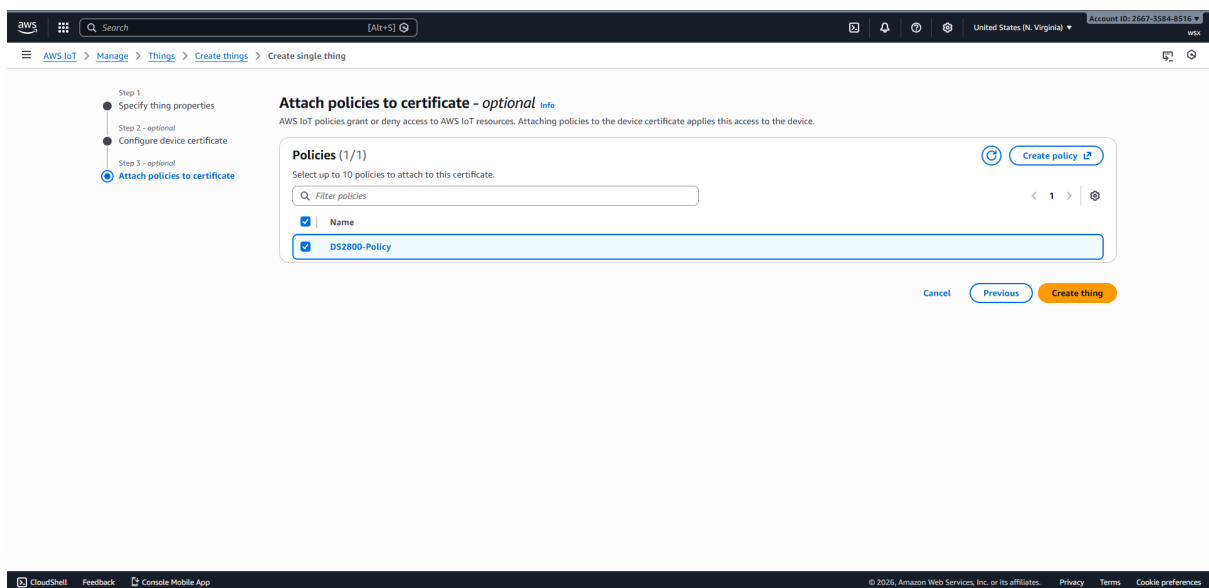
リスト 3: Policy document

```
1 {
2   "Version": "2012-10-17",
3   "Statement": [
4     {
5       "Effect": "Allow",
6       "Action": [
7         "iot:Publish",
8         "iot:Receive",
9         "iot:PublishRetain"
10      ],
11      "Resource": "*"
12    },
13    {
14      "Effect": "Allow",
15      "Action": "iot:Subscribe",
16      "Resource": "*"
17    },
18    {
19      "Effect": "Allow",
20      "Action": "iot:Connect",
21      "Resource": "*"
22    }
23  ]
24 }
```



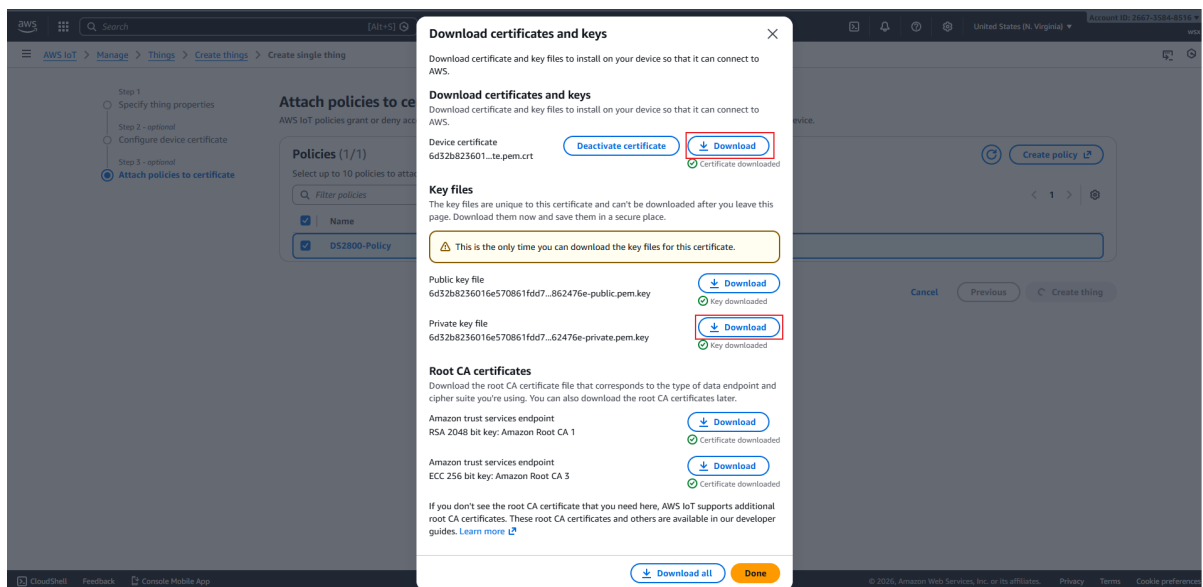
ポリシーの作成ページ

- Attach policies to certificate ページに戻り、新しく作成されたポリシーを確認し、Create Things をクリックしてデバイスの作成を完了します。



ポリシーをバインドしてモノを作成する

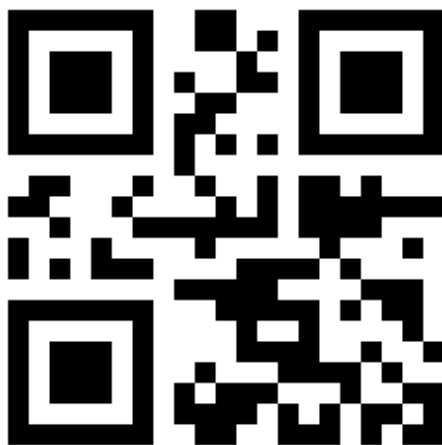
- まず証明書と秘密キーをダウンロードし、次に Done をクリックしてデバイスの作成プロセスを完了します。



証明書と秘密キーをダウンロードする

コード読み取り装置の設定

MQTT モードを設定する



MQTT モード

MQTT ポートを **8883** に設定します。



MQTT ポート 8883

クライアント証明書を設定する

💡 Tip

生成された QR コードが大きすぎる場合は、スクリーンショットを撮って携帯電話に送信し、携帯電話の画面の明るさを最高レベルに調整してから、コード読み取りデバイスを使用してスキャンすることをお勧めします。

秘密鍵を設定する

💡 Tip

生成された QR コードが大きすぎる場合は、スクリーンショットを撮って携帯電話に送信し、携帯電話の画面の明るさを最高レベルに調整してから、コード読み取りデバイスを使用してスキャンすることをお勧めします。

Wi-Fi とブローカーを構成する

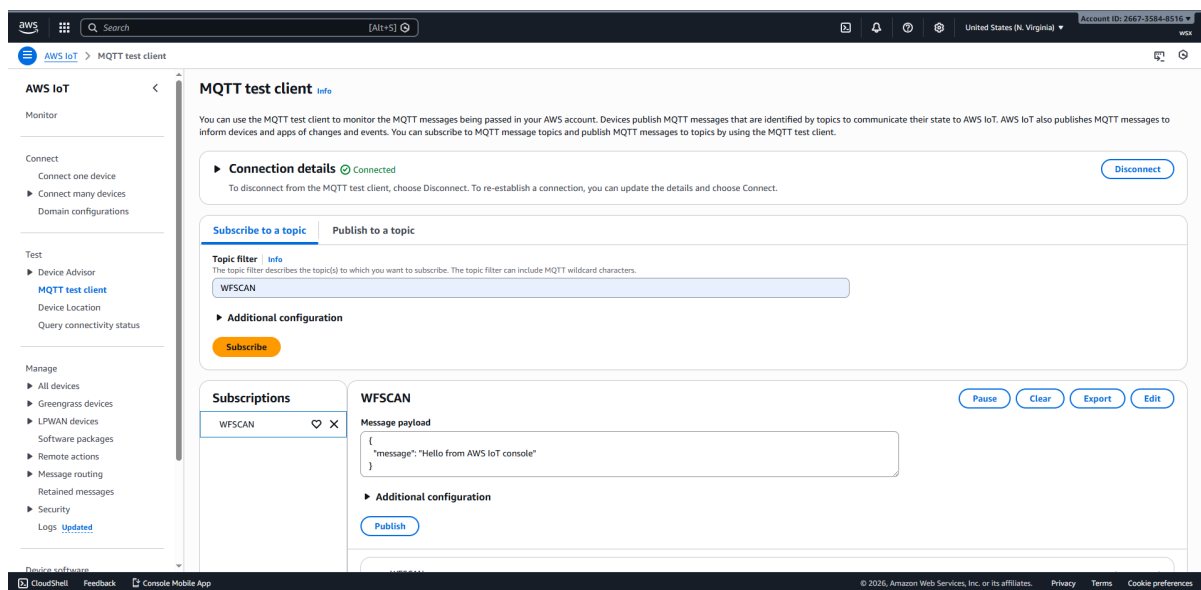
💡 Tip

対応する Wi-Fi 情報とサービスアドレスを入力すると、コード読み取りデバイスが AWS IoT にアクティブに接続します。接続が成功すると、コード読み取りデバイスの緑色のインジケータライトが点灯したままになります。

MQTT テストクライアント

- [MQTT テストクライアント](#) をクリックしてページに入ります。
- 購読するトピックを入力し、Subscribe をクリックした後、コード読み取りデバイスを

使用してバーコードをスキャンし、コード読み取りデバイスによってアップロードされたデータを受信します。



MQTT テストクライアントページ

5.5 ネットワーク構成

ネットワーク構成

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

動的 IP アドレス構成

1. 恢复 Wi-Fi 模块默认设置



Wi-Fi モジュールのデフォルト設定を復元する

2. 设置动态 IP 模式



動的 IP モードを設定する

3. 重启读码设备



コード読み取り装置を再起動します

4. 配置传输方案

ネットワークパラメータを設定した後、必要に応じて引き続き次の送信方法を設定できます。

1. TCP クライアントを使用してデータを転送する
2. TCP サーバーを使用してデータを送信する
3. MQTT プロトコルを使用してデータを送信する
4. HTTP プロトコルを使用してデータを送信する

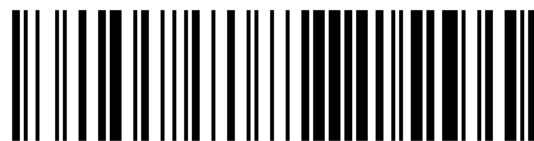
静的 IP アドレスの構成

1. 恢复 Wi-Fi 模块默认设置



Wi-Fi モジュールのデフォルト設定を復元する

2. 设置静态 IP 模式



静的 IP モードを設定する

3. 重启读码设备



コード読み取り装置を再起動します

4. 設置 IP 地址

5. 設置网关

6. 設置子网掩码

7. 配置传输方案

ネットワークパラメータを設定した後、必要に応じて引き続き次の送信方法を設定できます。

1. TCP クライアントを使用してデータを転送する
2. TCP サーバーを使用してデータを送信する
3. MQTT プロトコルを使用してデータを送信する
4. HTTP プロトコルを使用してデータを送信する

6 蓝牙モード

注釈

DS2800 など、Wi-Fi + 蓝牙送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

- 「蓝牙モード」設定コードをスキャンした後、ボタンを押してデバイスを起動すると、蓝牙送信に切り替えることができます。
- ホスト蓝牙を開いて検索し、ペアリングを完了すると、蓝牙を通じてデータを転送できるようになります。
- 一般的なデフォルトの蓝牙名は、barcode scanner または NETUM Bluetooth です。

注釈

青色のインジケータライトの意味は次のとおりです。

① 青いライトが点滅し、接続されていないことを示します。② 青いライトが常に点灯し、接続されていることを示します。

6.1 蓝牙 HID



* 蓝牙 HID

6.2 蓝牙 SPP



蓝牙 SPP

6.3 蓝牙 BLE



蓝牙 BLE

注釈

蓝牙 SPP および蓝牙 BLE は主にソフトウェアドッキングに使用されます。システム蓝牙で直接検索してペアリングする必要がある場合は、[蓝牙 HID](#) を使用してください。

6.4 ペアリング情報をクリアする

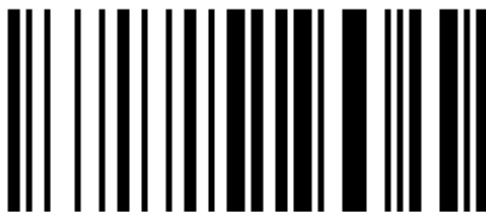


ペアリング情報をクリアする

注釈

新しいデバイスと再度ペアリングする場合、またはペアリングが失敗した場合は、セットアップコードをスキャンして再度ペアリングできます。

6.5 iOS キーボードのポップアップ/非表示

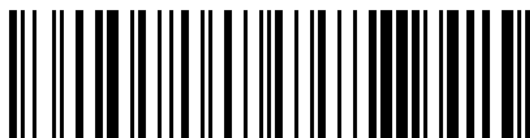


iOS キーボードのポップアップ/非表示

i 注釈

スキャンボタンを2回続けて押すと、設定コードをスキャンせずにキーボードをポップアップまたは非表示にすることもできます。この関数は、iOS システムでの藍牙ペアリングシナリオのみをサポートします。

6.6 藍牙キーボードの送信速度



藍牙キーボードの通信速度を読み取ります

高速



高速

中速



中速

低速



低速

6.7 藍牙名の変更

7 キーボード設定

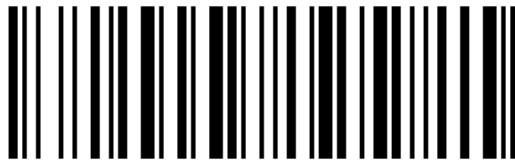
7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

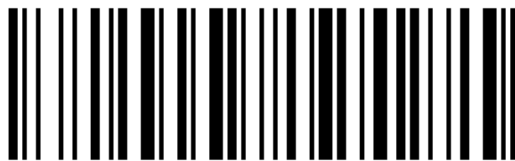
注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



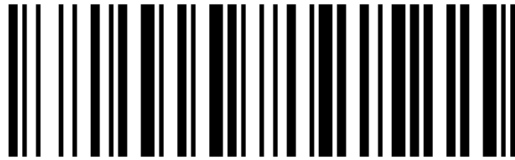
Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



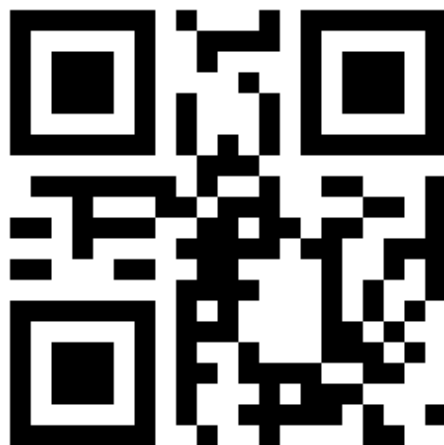
Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



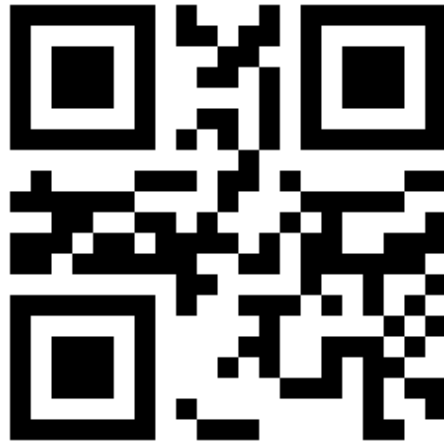
現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

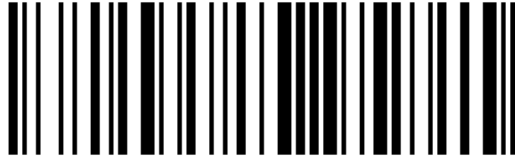
受信デバイスの選択

注釈

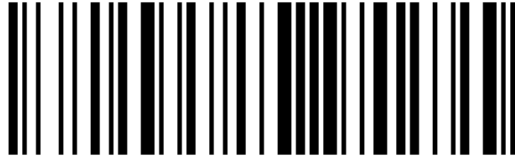
このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

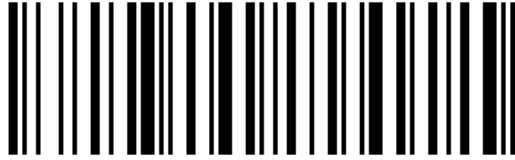
8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



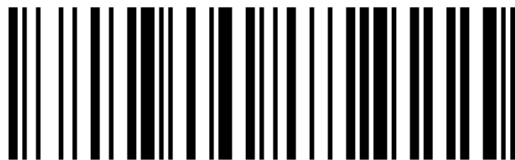
トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー



イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



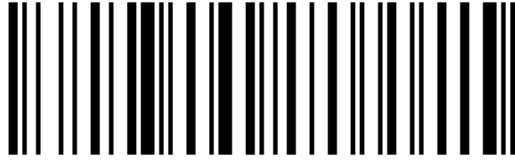
チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



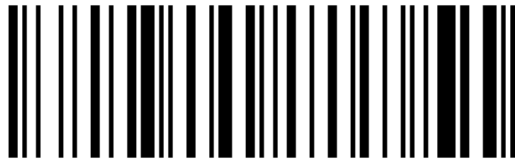
スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



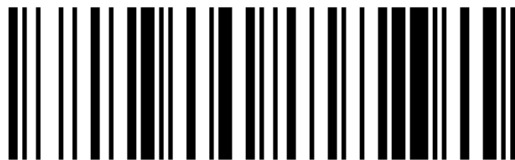
デンマーク語キーボード

L17 FINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



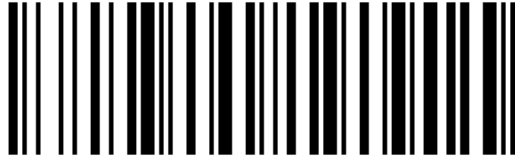
ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



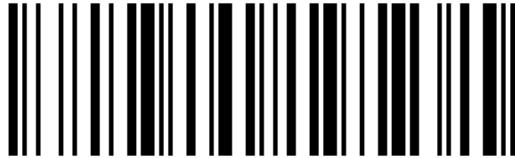
ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



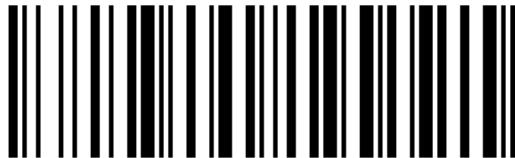
セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー

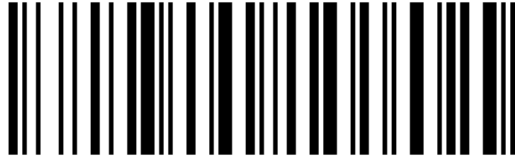


日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



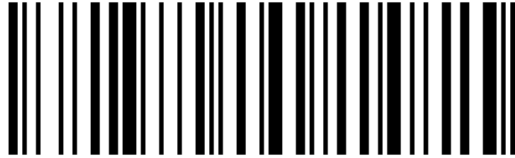
プレフィックスを追加する



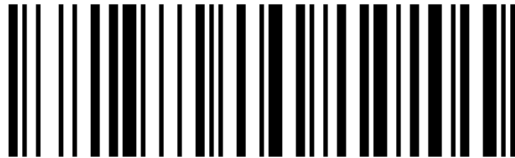
接尾語を追加



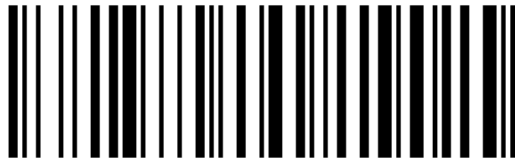
すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



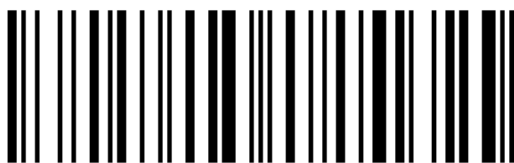
デジタル設定コード F

出力形式の設定

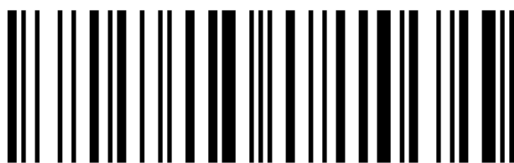
出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



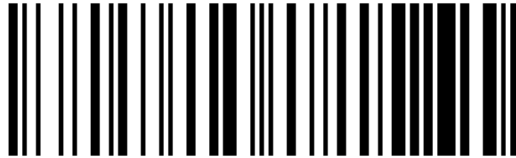
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

XX

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被替换字符长度 + 被替换字符 + 替换后数据长度 + 替换后数据 #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



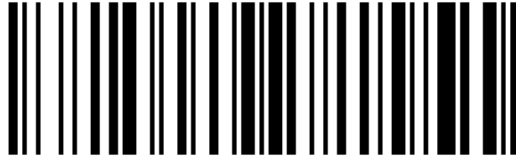
CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



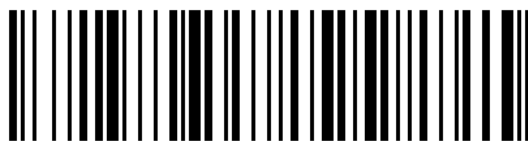
括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~ 9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 MOD の設定

11.1 デバイスの機能設定

URL ブロック



* 無効にする

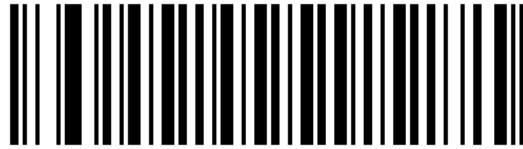


有効にする

請求書機能

請求書機能を有効にすると、Code 128 コードシステムは自動的に無効になります。Code 128 を読み取る必要がある場合は、Code 128 コードシステムを再度有効にすることができます。

VAT 請求書の自動識別と出力

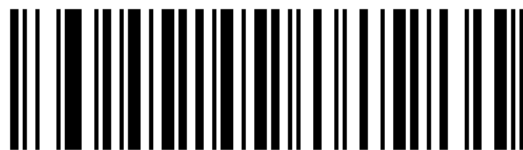


* 無効にする

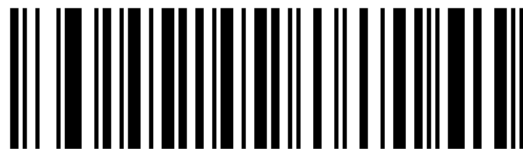


有効にする

請求書の種類



* 特別請求書



通常の請求書

11.2 トリガー設定

トリガーモード

キーホールド（レベル）

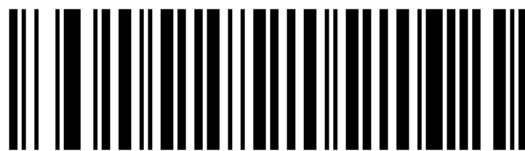
ボタンを押すと読み取りが開始され、ボタンを放すと読み取りが終了します。読み取りが成功するか、単一の読み取りタイムアウトになると、読み取りは終了します。



* キーホールド（レベル）

シングルキートリガー（パルス）

キーレベルの変化が検出されてから読み取りが開始され、約 30 ms (具体的な時間は製品によって異なります) 維持されます。再びキーレベルの変化が検出されると読み取りが終了します。この読み取りは、読み取りが成功するか、単一読み取りタイムアウトになると終了します。



シングルキートリガー（パルス）

連続モード

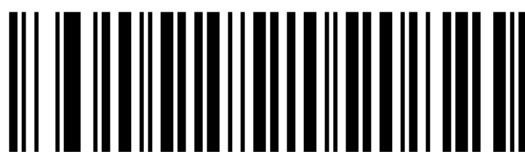
読み取りエンジンは継続的に動作します。読み取りが成功するたび、または 1 回の読み取り時間が経過するたびに読み取りは終了し、連続読み取り間隔に達すると次の読み取りが自動的にトリガーされます。



連続モード

オートセンシングモード

読み取りエンジンは周囲の環境の明るさを検出し、明るさが変化すると読み取りをトリガーします。読み取りが成功するか、単一の読み取りタイムアウトになると、現在の読み取りが終了し、環境の明るさの検出が再び開始されます。



オートセンシングモード

1 回のスキャン時間 (スキャン期間)

単一の読み取りのカスタム最大継続時間を設定します。設定コードをスキャンした後、3 桁の設定コードをスキャンして時間係数を入力します。3 桁未満の場合は、前に 0 を追加します。

デフォルト

3000 ms

ユニット

100 ms

範囲

500-25500 ms



1 回のスキャン時間

i 例

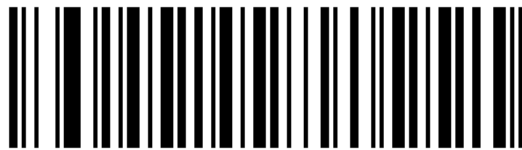
500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0、0、5 を順番にスキャンします。

10500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 1、0、5 を順番にスキャンします。

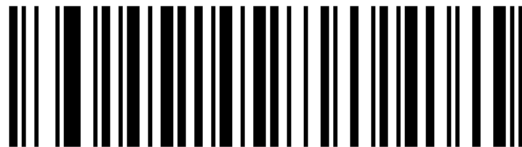
選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、**バーコードをキャンセル** をスキャンします。

1 回のスキャン時間（スキャン時間）のクイック設定

よく使用される期間を直接選択する必要がある場合は、次のクイックセットアップコードをスキャンできます。



無制限



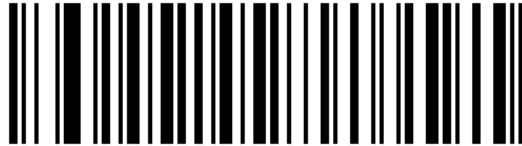
3 秒間持続



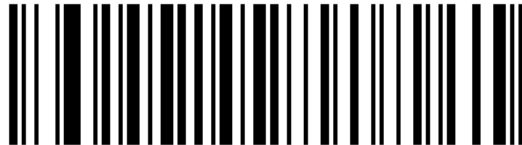
5 秒間持続



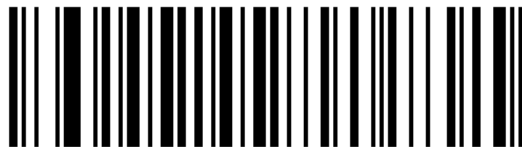
10 秒間持続



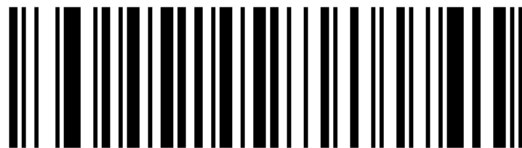
15 秒間持続



20 秒持続



30 秒持続



60 秒持続

連続読み取り間隔

連続モードでは、このパラメータは2つの読み取りの間の待機に使用されます。最後の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、時間が経過すると自動的に次の読み取りに入ります。

設定コードを読み取った後、2桁の設定コードを読み取って時間係数を入力します。2桁未満の場合は、前に0を追加します。

デフォルト

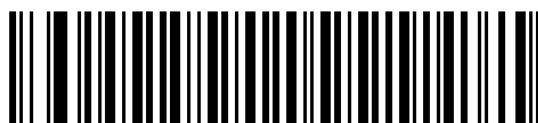
500 ms

ユニット

100 ms

範囲

0-9900 ms



連続読み取り間隔

例

500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0 と 5 を順番にスキャンします。

選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、**バーコードをキャンセル** をスキャンします。

同じコードの遅延

連続モードおよび自動検知モードで同じバーコードが複数回読み取られるのを防ぐために、読み取りエンジンに同じバーコードの再読み取りを一定期間遅らせるように要求できます。

設定コードを読み取った後、2 桁の設定コードを読み取って時間係数を入力します。2 桁未満の場合は、前に 0 を追加します。

デフォルト

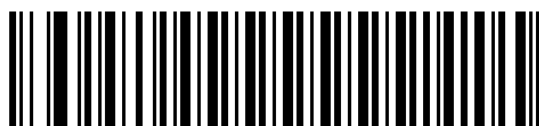
500 ms

ユニット

100 ms

範囲

0-9900 ms



同じコードの遅延

例

200 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 0 と 2 を順番にスキャンします。

1500 ms の設定: 設定コードをスキャンした後、デジタル設定コード 1 と 5 を順番にスキャンします。

選択を変更するか、間違った設定をキャンセルするには、**バーコードをキャンセル** をスキャンします。

同一コード遅延クイック設定

よく使用される遅延を直接選択する必要がある場合は、次のクイックセットアップコードをスキャンできます。0、1、3、5、7、および無限遅延、合計 6 つのギアをサポートします。



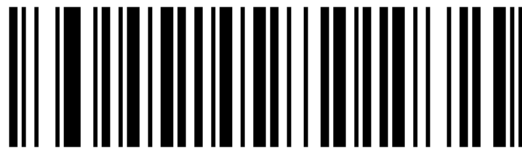
遅延なし



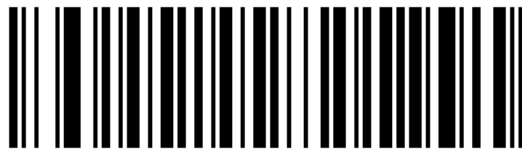
1 秒の遅延



3 秒の遅延



5 秒遅延



7 秒の遅延



無限遅延 (同一コード読み取りを無効にする)

11.3 エンジン Code ID

トランスポートコード ID 文字

パラメータ番号

0x2D

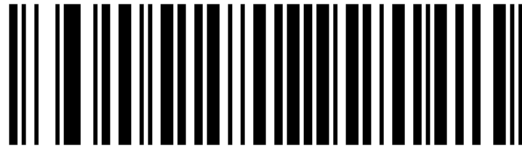
デフォルト

None (无)

コード ID 文字は、バーコードの種類を識別するために使用されます。デバイスが複数のバーコードタイプをデコードできる場合、プレフィックス文字とデコードされたデータの間に Code ID または AIM ID を挿入できます。Code ID 文字については、[Code ID](#) を参照。AIM ID 文字については、[AIM コード識別子](#) を参照してください。



Code ID



AIM ID



* なし

Code ID

バーコードの種類	Code ID
Code 128	D
GS1-128(UCC/EAN-128)	K
AIM 128	D
ISBT-128	D
EAN-8	A
EAN-13	A
ISSN	L
ISBN/Bookland EAN	L
UPC-E	A
UPC-A	A
Interleaved 2 of 5/ITF	F
ITF-14	F
Deutsche Post 14	w
Deutsche Post 12	l
NEC-25(COOP 2 of 5)	o
Matrix 2 of 5	V
Industrial 2 of 5/Discrete 2 of 5/IND25	G
Standard 2 of 5 (IATA 25)	G
Code 39	B
Code 93	E
Codabar	C
Code 11	H
Plessey	J
MSI-Plessey	J
GS1-データバー (RSS)	R

次のページに続く

表 2 - 前のページからの続き

バーコードの種類	Code ID
PDF417	r
QR	q
AZTEC(Aztec Code)	a
Data Matrix (DM)	u
MaxiCode	x
漢信コード/漢信コード	c
Code 32	B
Trioptic Code 39	M
Coupon Code	N
GS1 DataBar-14	R
GS1 DataBar Limited	R
GS1 DataBar Expanded	R
SETUP128	S
Veri Code	v

AIM コード識別子

バーコードの種類	AIM ID	説明する
Code 128	]C0	通常データ
GS1-128(UCC/EAN-128)	]C1	FNC1 は最初のコードワード位置にあります。
AIM 128	]C2	FNC1 は 2 番目のコードワード位置にあります。
ISBT-128	]C0	
EAN-8	]E4	通常データ
	]E4…]E1…	EAN-8 データと 2 桁の追加コード。
	]E4…]E2…	EAN-8 データと 5 桁の追加コード。
EAN-13	]E0	通常データ
	]E3	EAN-13 データと 2/5 桁の追加コード。
ISSN	]X0	通常データ
ISBN/Bookland EAN	]X0	通常データ
UPC-E	]E0	通常データ
	]E3	UPC-E データと 2/5 桁の追加コード。
UPC-A	]E0	普通のデータ。
	]E3	UPC-A データと 2/5 桁の追加コード。
Interleaved 2 of 5/ITF	]I0	通常データ
	]I1	チェックキャラクタを検証して出力します。
	]I3	チェックキャラクタを検証しますが、出力しません。
ITF-14	]I1	チェック文字を出力します。

次のページに続く

表3-前のページからの続き

バーコードの種類	AIM ID	説明する
	]I3	チェックキャラクタは出力されません。
Deutsche Post 14	]X0	通常データ
Deutsche Post 12	]X0	通常データ
NEC-25(COOP 2 of 5)	]X0	通常データ
Matrix 2 of 5	]X0	通常データ
Industrial 2 of 5/ Discrete 2 of 5/IND25	]S0	通常データ
Standard 2 of 5 (IATA 25)	]R0	通常データ
Code 39	]A0	チェックサムなし、Full ASCII 拡張子なし、データをそのまま出力します。
	]A1	MOD43 検証、および出力検証文字。
	]A3	MOD43 検証を実行しますが、検証文字は出力されません。
	]A4	Full ASCII 拡張機能が作成されましたが、チェックサムがありません。
	]A5	Full ASCII 拡張が行われ、チェックキャラクタが出力されます。
	]A7	Full ASCII 拡張は行われますが、チェックキャラクタは出力されません。
Code 93	]G0	通常データ
Codabar	]F0	通常データ
	]F2	検証、および検証文字の出力。
	]F4	検証しますが、検証文字は出力されません。
Code 11	]H3	通常データ
	]H0	MOD11 単一文字検証および出力検証文字。
	]H3	MOD11 単一文字検証ですが、検証文字は出力されません。
Plessey	]P0	通常データ
MSI-Plessey	]M0	通常データ
	]M0	MOD10 検証、および出力検証文字
	]M1	MOD10 検証ですが、検証文字は出力されません
GS1-データバー (RSS)	]e0	標準データパッケージ
PDF417	]L0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します

次のページに続く

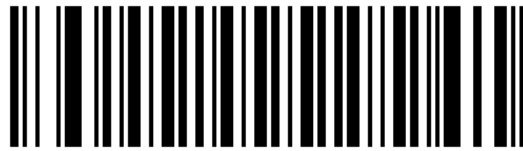
表3 - 前のページからの続き

バーコードの種類	AIM ID	説明する
QR	]Q0	QR Code モード 1 (AIM ISS 97-001 に準拠)
	]Q1	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されません
	]Q2	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用
	]Q3	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されず、位置 1 に FNC1
	]Q4	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用、位置 1 に FNC1
	]Q5	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルは使用されず、位置 2 に FNC1
	]Q6	QR Code モード 2 (2005 シンボル)、ECI プロトコルを使用、位置 2 に FNC1
AZTEC(Aztec Code)	]z0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します
Data Matrix (DM)	]d0	ECC 000 - 140
	]d1	ECC 200
	]d2	ECC 200、位置 1 または 5 の FNC1
	]d3	ECC 200、位置 2 または 6 の FNC1
	]d4	ECC 200 は ECI プロトコルをサポートします
	]d5	ECC 200、位置 1 または 5 の FNC1、ECI プロトコルをサポート
	]d6	ECC 200、位置 2 または 6 の FNC1、ECI プロトコルをサポート
MaxiCode	]U1	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します
漢信コード/漢信コード	]X0	現時点ではオプションが指定されていないため、常に 3 を送信します

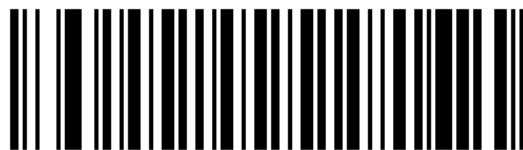
11.4 エンジン出力フォーマット

ターミネーターの設定

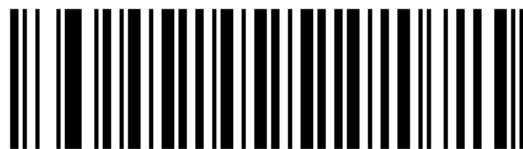
ターミネータは、出力データの後に付加される制御文字です。出力形式は、出力データ + ターミネータです。



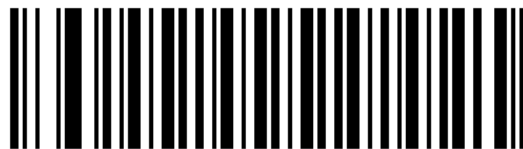
* 無効にする



復帰と改行 CR LF



CR を入力してください



タブ



Enter Enter CR CR



キャリッジリターンとラインフィードキャリッジリターンとラインフィード CR LF CR LF

GS1 ルールをサポートし、括弧を使用して AI フィールドを含めます

現在、GS1 ルールがサポートされており、サポートされる AI セグメントは次のとおりです：
(00) 輸送コンテナのシリアル番号、(01) 商品取引品目、(02) 商品取引品目、(10) バッチ番号、
(11) 製造日、(13) 包装日、(15) 賞味期限、(17) 有効期限、(21) シリアル番号、(30) 数量、(240)
内部コード、(712) 国民医療保険償還番号 - スペイン CN、(8012) ソフトウェアバージョン、
(90) 取引先間の一貫した情報



* 無効にする



有効にする

11.5 バーコード設定

共通コード入力

コーディングシステム	入り口
UPC-A	UPC-A
UPC-E	UPC-E
EAN-8	EAN-8
EAN-13	EAN-13
Bookland EAN	Bookland EAN (ISBN) を有効/無効にする
Code 128	Code 128
GS1-128	GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)
Code 39	Code 39
Code 93	Code 93
Code 11	Code 11
Interleaved 2 of 5	インターリーブド 2/5/ITF/クロス 25 ヤード
Codabar	Codabar
MSI	MSI/MSI PLESSEY
PDF417	PDF417
QR Code	QR Code
Data Matrix	Data Matrix (DM)
Maxi Code	Maxi Code
Aztec Code	Aztec Code
Han Xin Code	Han Xin Code

1D 反転バーコード読み取り



* 無効にする



有効にする

バーコードグローバルスイッチ 一次元コードスイッチ



無効にする



有効にする

QR コードスイッチ



無効にする



有効にする

すべてのバーコードスイッチ



すべてのバーコードを無効にする



すべてのバーコードを有効にする

リニアコードタイプの安全レベル

読み取りエンジンは、デコードされたセキュリティリニアエンコーディングタイプの4つのレベルを提供します。バーコードの品質レベルが低下する場合は、より高いセキュリティレベルを選択します。フォローする

セキュリティレベルが上がると、読み取りエンジンの攻撃性が低くなります。バーコードの品質に合ったセキュリティレベルを選択してください。

線形安全性レベル 1

すべてのコードタイプは、デコードされる前に1回正常に読み取られる必要があります



* リニアセキュリティレベル 1

リニアセーフティレベル 2

すべてのコードタイプは、デコードされる前に2回正常に読み取られる必要があります。



リニアセーフティレベル 2

リニアセーフティレベル 3

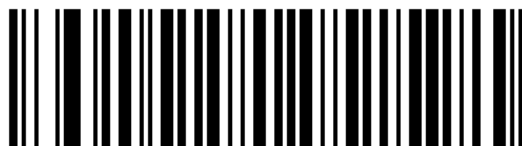
すべてのコードタイプは、デコードされる前に3回正常に読み取られる必要があります。



リニアセーフティレベル 3

リニアセーフティレベル 4

すべてのコードタイプは、デコードされる前に 4 回正常に読み取られる必要があります



リニアセーフティレベル 4

UPC-A

UPC-A の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-A を有効または無効にします。



* UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

UPC-A プリアンブル

プリアンブル文字 (国コードおよびシステム文字) は、一部の UPC-A バーコードで送信できます。UPC-A プリアンブルを設定してホストに送信するには、システム文字のみを送信する、システム文字と国コード (米国の場合は「0」) を送信する、またはプリアンブルを送信しないオプションのいずれかを選択できます。



プリアンブルなし (<DATA>)



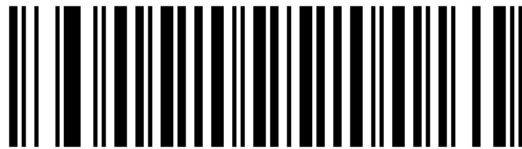
* システム文字 (<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)



システム文字と国コード (<COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)

UPC-A チェックディジットを送信する

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-A チェックコードを送信するかどうかを設定します。



*UPC-A チェックディジットを送信



UPC-A チェックディジットを送信しない

UPC-A 2 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-A 5桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-A は追加コードを読み取る必要があります



UPC-A を有効にし、追加のコードを読み取る必要があります



UPC-A を無効にする追加のコードを読み取る必要があります

UPC-E

UPC-E の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-E を有効または無効にします。



* UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする

UPC-E プリアンブル



プリアンブルなし (<DATA>)



* システム文字 (<SYSTEM CHARACTER> <DATA>)



システム文字と国コード (<COUNTRY CODE> <SYSTEM CHARACTER> <DATA>)

UPC-E チェックディジットを送信する

以下の対応するバーコードをスキャンして、UPC-E チェックディジットを送信するかどうかを設定します。



*UPC-E チェックディジットを送信



UPC-E チェックディジットを送信しない

UPC-E を UPC-A に変換します

このパラメータを使用すると、送信前にこのパラメータを UPC-E (ゼロ抑制) デコードされたデータから UPC-A 形式に変換できます。変換後、データは UPC-A 形式に従い、UPC-A によって保護されます。

プログラミングの選択の影響 (例: プリアンブル、チェックサム)。



UPC-E から UPC-A への変換

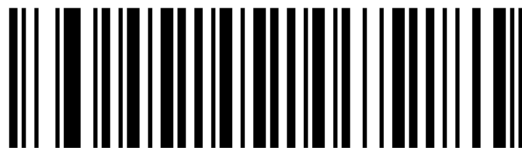


* UPC-E を UPC-A に変換しないでください

UPC-E 2 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-E 5 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

UPC-E は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

UPC-E1 スイッチ



* UPC-E1 を無効にする



UPC-E1 を有効にする

EAN-8

EAN-8 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、EAN-8 を有効または無効にします。



* EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする

EAN-8 ゼロ拡張

このパラメータを有効にすると、EAN-8 はデコード結果の前に 5 つのプレフィックス 0 を追加し、EAN-13 形式と互換性を持たせます。このパラメータが無効の場合、生の EAN-8 データが送信されます。



EAN-8 ゼロ拡張を有効にする



* EAN-8 ゼロ拡張を無効にする

EAN-8 2 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-8 5 桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-8 は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

EAN-8 チェックデジットの送信



無効にする



* 有効にする

EAN-13

EAN-13 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、EAN-13 を有効または無効にします。



* EAN-13 を有効にする



EAN-13 を無効にする

EAN-13 2桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-13 5桁の追加コード



有効にする



* 無効にする

EAN-13 は追加コードを読み取る必要があります



有効にする



* 無効にする

EAN-13 チェックキャラクタを送信



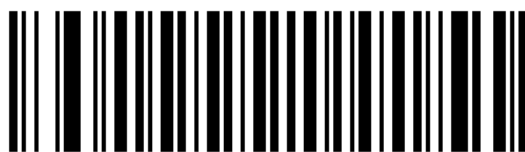
EAN-13 のチェック文字の送信を無効にする



EAN-13 を有効にしてチェック文字を送信する

Bookland EAN (ISBN) を有効/無効にする

Bookland EAN (ISBN) を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



ブックランド EAN を有効にする



* Bookland EAN を無効にする

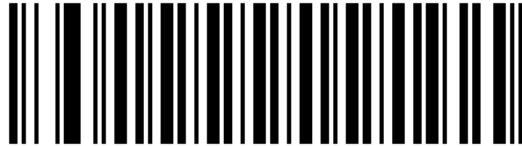
Code 128

注釈

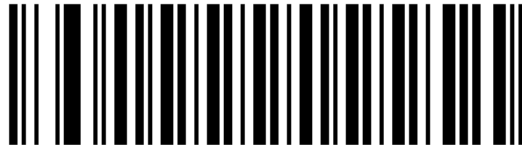
Code 128 の有効化/無効化制御は AIM128 にも適用されます。AIM128 の出力タイプ識別は、通常の Code 128 とは異なります。

Code 128 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 128 を有効または無効にします。

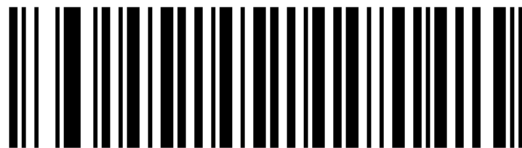


* Code 128 を有効にする

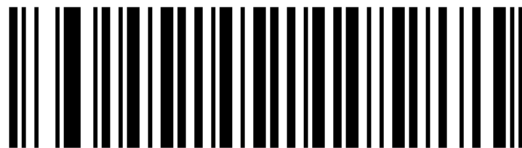


Code 128 を無効にする

Code 128 チェックキャラクタを送信



有効にする



* 無効にする

Code 128 の長さ設定

特定の長さの Code 128 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 128 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

i 例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 128 任意の長さ



Code 128 指定された長さ

GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)



GS1-128 (以前の UCC/EAN-128)

任意の長さ



* GS1-128 を有効にする

GS1-128 を無効にする

UCC/EAN-128 チェックキャラクタを送信する



有効にする



* 無効にする

UCC/EAN-128 の長さの設定

特定の長さの UCC/EAN-128 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「UCC/EAN-128 任意長」設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができます。数値設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



UCC/EAN-128 任意の長さ



UCC/EAN-128 で指定された長さ

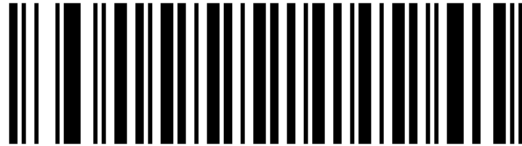
ISBT 128

任意の長さ

以下の適切なバーコードをスキャンして、ISBT 128 を有効または無効にします。



* ISBT 128 を有効にする



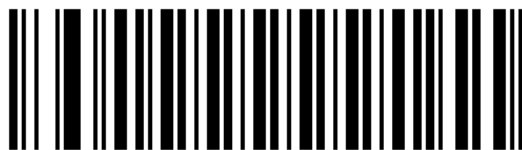
任意の長さ

Code 39

ISBT 128 を無効にする

Code 39 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 39 を有効または無効にします。



* Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする

Code 39 長さの設定

特定の長さの Code 39 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 39 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

0-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 39 任意の長さ



Code 39 指定された長さ

Code 39 チェックディジットの検証

この機能を有効にすると、読み取りエンジンはすべての Code 39 コードの整合性をチェックし、データが指定されたチェックディジットアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。1 つのモジュロ 43 チェックディジットを含む Code 39 バーコードのみをデコードできます。



Code 39 チェックディジットを確認する



* Code 39 チェックディジットを検証しません

Code 39 チェックディジットの送信このバーコードをスキャンしてデータチェックディジットを送信します。



Code 39 チェックディジットを送信する



* Code 39 チェックディジットを送信しないでください

Code 39 Full ASCII の有効化/無効化

Code 39 Full ASCII は Code 39 から進化しており、二重文字から Full ASCII 文字にエンコードできます。以下の対応するバーコードをスキャンして、Code 39 Full ASCII を有効または無効にします。

文字検索テーブルの Code 39 文字の ASCII 値へのマッピングを参照してください。



Code 39 Full ASCII を有効にする



* Code 39 Full ASCII を無効にする

Code 39 送信開始文字と終了文字



* 無効にする



有効にする

Code 39 をコード 32 (イタリアの医療法) に変換する

コード 32 は、イタリアの製薬業界で使用されている Code 39 のバリエーションです。以下の適切なバーコードをスキャンして、Code 39 から Code 32 への変換を有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

コード 32 プレフィックス

このパラメータを有効にすると、すべての Code 32 にプレフィックス文字「A」が追加されます。このパラメータを有効にする前に、まず Code 39 を Code 32 (イタリアの医薬品コード) に変換する必要があります。



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックコードの検証



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックディジットを送信する



* 送信チェックディジット 0x00



Code 32 チェックディジットの送信を有効にする

Code 93

送信開始キャラクタ、終了キャラクタ、チェックディジット
0x01

コード 93 を有効/無効にする

Code 93 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



コード 93 を有効にする



* コード 93 を無効にする

Code 93 の長さを設定する

特定の長さの Code 93 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 93 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト
0-99

設定範囲 01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



Code 93 任意の長さ



コード 93 は長さを指定します

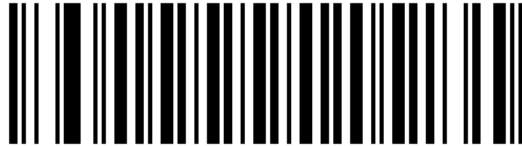
Code 11

コード 11 を有効/無効にする

コード 11 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



コード 11 を有効にする



* コード 11 を無効にする

コード 11 の長さ設定

特定の長さの Code 11 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Code 11 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



コード 11 任意の長さ



コード 11 は長さを指定します

チェックコードの検証

この機能により、読み取りエンジンはすべての Code 11 エンコーディングの整合性をチェックして、データが指定されたチェックデジットアルゴリズムに準拠していることを確認できます。これにより、デコードされた Code 11 バーコードのチェックデジットメカニズムが

選択されます。オプションには、1 パリティ桁のチェック、2 パリティ桁のチェック、または機能の無効化が含まれます。

この機能を有効にするには、チェックデジットの数に対応する以下の Code 11 バーコードをスキャンします。



* 有効にする



チェックデジット



2つのチェックデジット

コード 11 チェックディジットを送信する

以下のバーコードをスキャンし、Code 11 確認コードを送信するかどうかを選択します。



コード 11 チェックディジットを送信する



* Code 11 チェックディジットを送信しないでください

注釈

このパラメータ機能を実装するには、Code 11 チェックコード検証を有効にする必要があります。

インターリーブド 2/5/ITF/クロス 25 ヤード

Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする

Interleaved 2 of 5 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



* Interleaved 2 of 5 を有効にする



Interleaved 2 of 5 を無効にする

Interleaved 2 of 5 の長さ設定

特定の長さの Interleaved 2 of 5 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Interleaved 2 of 5 任意長」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



任意の長さのインターリーブ 2 of 5



指定された長さの Interleaved 2 of 5

I 2/5 チェックコードの検証

このパラメータを有効にすると、I 2 of 5 シンボルの整合性がチェックされ、USS (Uniform Symbol Specific) や OPCC (Optical Product Code Council) などの指定されたアルゴリズムに準拠していることが確認されます。



* 無効にする



有効にする

I 2/5 チェックデジットを送信

このバーコードをスキャンすると、データのチェックサムが送信されます。



I 2/5 チェックデジットを送信



* I 2/5 チェックデジットは送信しません

ディスクリット 2 of 5/インダストリアル 2 of 5/IND25/インダストリアル 25 ヤード

Discrete 2 of 5 を有効/無効にする

Discrete 2 of 5 を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



Discrete 2 of 5 を有効にする



* Discrete 2 of 5 を無効にする

ディスクリット 2 of 5 の長さ設定

特定の長さの Discrete 2 of 5 コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Discrete 2 of 5 任意長」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



任意の長さの離散 2/5



指定された長さのディスクリート 2/5

ディスクリート 2/5 の検証



有効にする



* 無効にする

Discrete 2 of 5 チェックキャラクタを送信



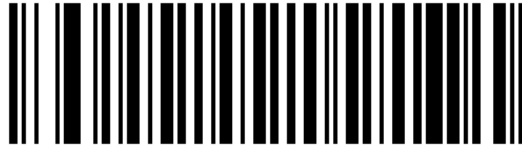
Discrete 2 of 5 を有効にしてチェックキャラクタを送信する



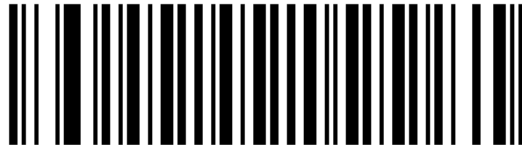
Discrete 2 of 5 を無効にするチェック文字を送信する

マトリックス 25(マトリックス 25)

マトリックス 25 を有効/無効にする

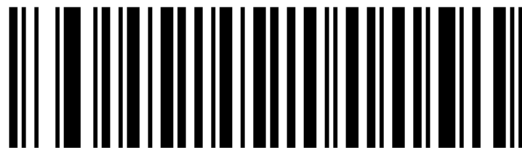


マトリックス 25 を有効にする

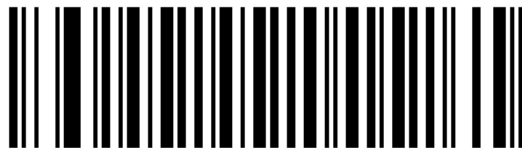


*マトリックス 25 を無効にする

マトリックス 25 チェックデジットの検証



マトリックス 25 チェックサム確認を有効にする



*マトリックス 25 チェックサム確認を無効にする

マトリックス 25 チェックキャラクタの送信



マトリックス 25 送信チェック文字を有効にする



*マトリックス 25 送信チェック文字を無効にする

マトリックス 25 の長さ設定

特定の長さのマトリックス 25 コードの読み取りを可能にします。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Matrix 25 Any Length」の設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



マトリックス 25 任意の長さ



マトリックス 25 は長さを指定します

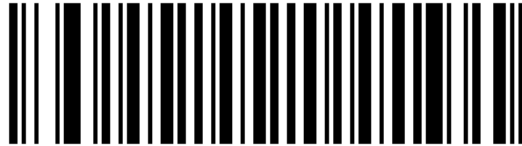
スタンダード 25/IATA25(スタンダード 25)

標準 25 を有効/無効にする

以下の対応するバーコードをスキャンして、Standard 25 を有効または無効にします。

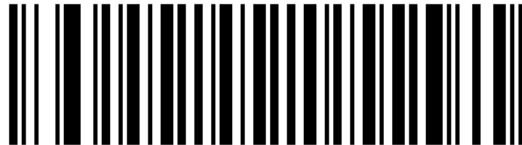


* 無効にする

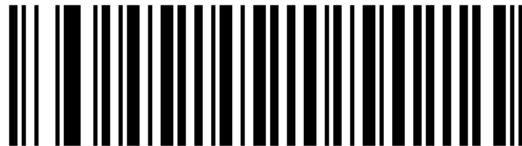


有効にする

標準の 25 チェックデジット検証

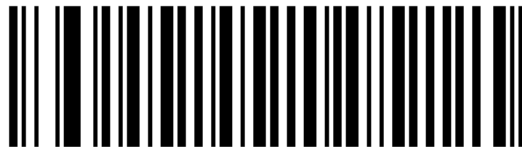


* 標準 25 チェックサム確認を無効にする



標準 25 チェックサム確認を有効にする

送信チェックキャラクタ



* 標準 25 送信チェックキャラクタを無効にする



標準 25 の送信チェックキャラクタを有効にする

標準 25 長さ設定

特定の長さの標準 25 コードの読み取りを可能にします。長さ設定コードをスキャンした後、4 桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Standard 25 Any Length」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲 01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



標準 25 任意の長さ



標準 25 指定長さ

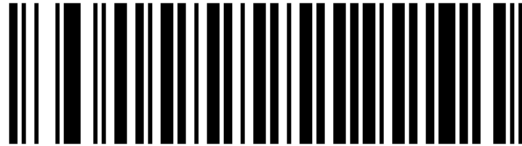
Codabar

Codabar を有効/無効にする

Codabar を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



Codabar を有効にする



* Codabar を無効にする

コードバーの長さの設定

特定の長さの Codabar コードの読み取りを許可します。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「Codabar Any Length」設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができ、数値設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

2-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。

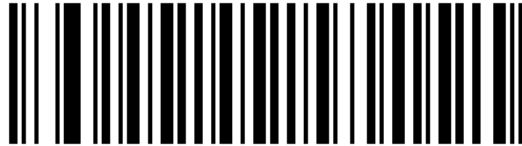


任意の長さのコードバー

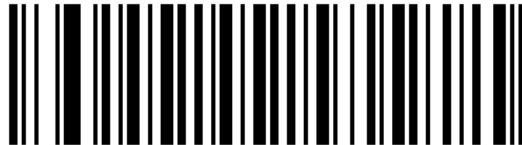


Codabar は長さを指定します

Codabar の検証



有効にする



* 無効にする

Codabar はチェック文字を送信します



有効にする

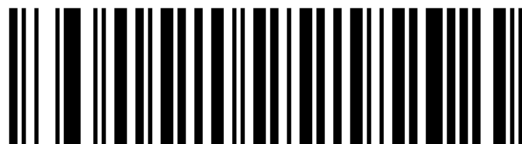


* 無効にする

通知編集



NOTIS 編集を有効にする



* NOTIS 編集を無効にする

開始文字と終了文字の形式

開始文字と終了文字には、「A」、「B」、「C」、「D」の4つの文字のいずれかを使用できます。
終了文字には、「T」、「N」、「*」、「E」の4つの文字のいずれかを使用することもできます。



*ABCD/ABCD



ABCD/TN*E

開始文字と終了文字の大文字化の設定



* 大文字



小文字

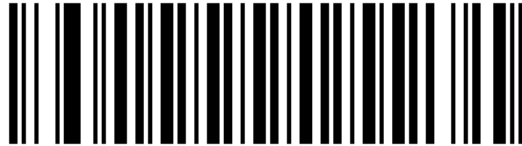
MSI/MSI PLESSEY

MSI を有効/無効にする

MSI を有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



MSI を有効にする



* MSI を無効にする

MSI の長さの設定

特定の長さの MSI コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2 桁を占めます。2 桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「MSI Any Length」設定コードを読み取る場合は、任意の長さを読み取ることができ、数値の設定コードを読み取る必要はありません。

デフォルト

2-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



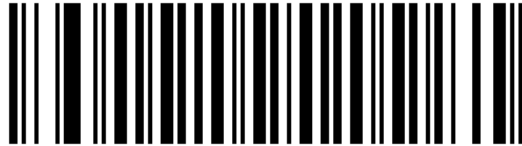
MSI の任意の長さ



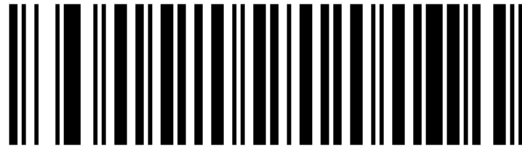
MSI 指定の長さ

MSI チェックデジット

バーコードの末尾にあるこれらのチェックコードは、データの整合性を検証します。少なくとも 1 つのチェックサムが常に要求されます。チェックサムはデータとともに自動的に送信されません。2 つのチェックディジットを選択する場合は、MSI チェックコードアルゴリズムも設定する必要があります。



* MSI チェックディジット



2つの MSI チェックディジット

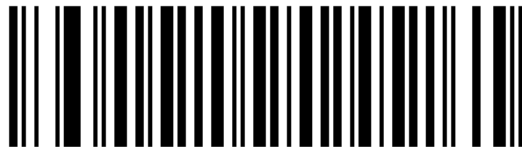
MSI チェックコードを送信する

このバーコードをスキャンして、データとともにチェックサムを送信するように設定します。



MSI チェックコードを送信する

このバーコードをスキャンして、チェックサムなしのデータ送信を設定します。



* MSI チェックコードを送信しません

MSI チェックコードアルゴリズム

2つの MSI チェックディジットを選択する場合、次のアルゴリズムのいずれかを選択する必要があります。



MOD 10 / MOD 11



* MOD 10 / MOD 10

GS1 DataBar/RSS

GS1 データバー/RSS の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、GS1 DataBar/RSS を有効または無効にします。



GS1 データバー/RSS を有効にする



* GS1 データバー/RSS を無効にする

RSS AI キャラクター



* 有効にする



無効にする

PDF417

PDF417 の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、PDF417 を有効または無効にします。

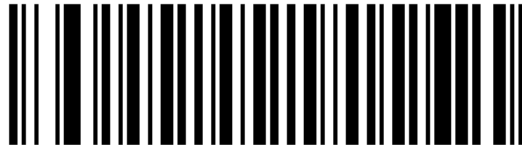


PDF417 を無効にする



* PDF417 を有効にする

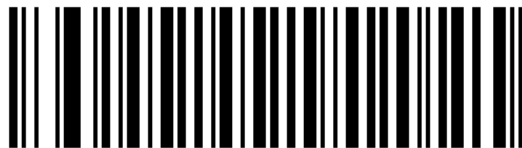
PDF417 正相/逆相読み取り



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

QR Code

QR Code の有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、QR Code を有効または無効にします。



QR Code を無効にする



* QR Code を有効にする

ECI 制御



* ECI は出力しません

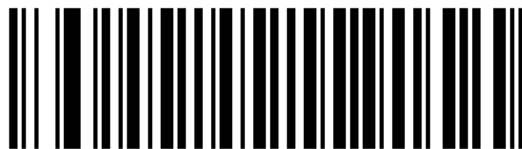


ECI 出力

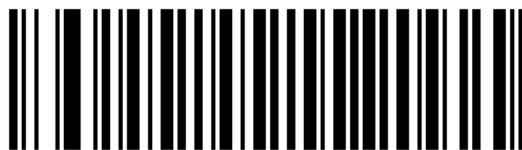
QR 正相・逆相読み取り



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

QR Code の UTF-8 BOM エンコード形式を削除します

有効にすると、QR Code データを出力するときに、UTF-8 BOM エンコード形式が削除されます。



* 無効にする



有効にする

Data Matrix (DM)

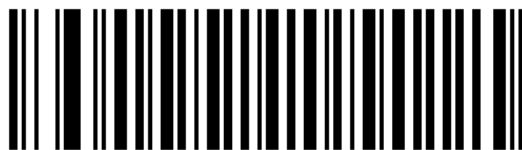
正像、鏡像どちらも読み込むことができます。

Data Matrix の有効化/無効化 (DM)

以下の対応するバーコードをスキャンして、Data Matrix (DM) を有効または無効にします。



Data Matrix を無効にする



* Data Matrix を有効にする

正/負の読み取り値



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

ECI 制御



* ECI は出力しません



ECI 出力

Maxi Code

マキシコードの有効化/無効化

以下の対応するバーコードをスキャンして、Maxi コードを有効または無効にします。



* Maxi コードを無効にする



マキシコードを有効にする

Aztec Code

アステカコードの有効化/無効化

Aztec コードを有効または無効にするには、以下の対応するバーコードをスキャンします。



* アステカコードを無効にする



アステカコードを有効にする

Han Xin Code

Han Xin コードを有効/無効にする

以下の対応するバーコードをスキャンして、Han Xin コードを有効または無効にします。



* Han Xin コードを無効にする

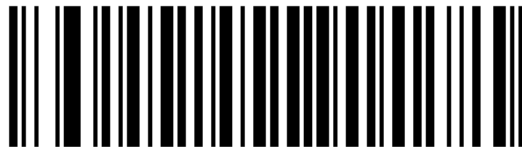


Han Xin コードを有効にする

正/負の読み取り値



* 読み取り専用の正相



読み取り専用反転



正相・逆相どちらも読み取ることができます。

ISSN

無効な場合は、EAN-13 に変換されます。



* 無効にする



有効にする

NEC-25(COOP25)

NEC-25(COOP25) スイッチ



有効にする



* 無効にする

NEC-25(COOP25) 検証



有効にする



* 無効にする

NEC-25(COOP25) チェックキャラクタを送信



有効にする



* 無効にする

NEC-25 (COOP 25) 長さ設定

特定の長さの NEC-25 コードを読み取ることができます。長さ設定コードをスキャンした後、4桁の設定コードをスキャンして L1 および L2 を設定します。L1 と L2 はそれぞれ 2桁を占めます。2桁に満たない場合は、前に 0 が追加されます。

「NEC-25 任意の長さ」の設定コードをスキャンする場合、任意の長さを読み取ることができます。数値の設定コードをスキャンする必要はありません。

デフォルト

4-99

設定範囲

01-99

状態	意味
L1 < L2	L1 は最小長、L2 は最大長です
L1 > L2	L1 は最大長、L2 は最小長です
L1 = L2	固定長のみを読み取ります

例

4-8 文字のみの読み取りが許可されます。数値設定コード 0、4、0、8、または 0、8、0、4 をスキャンします。

12 文字の読み取りを修正しました。数値設定コード 1、2、1、2 をスキャンします。



NEC-25 任意の長さ



NEC-25 指定された長さ

COMPOSITE

複合を有効/無効にする



* 無効にする



有効にする

11.6 エンジンセッティングコード

デジタル設定コード

正確な数値が必要なパラメータは、適切な数値設定コードをスキャンします。



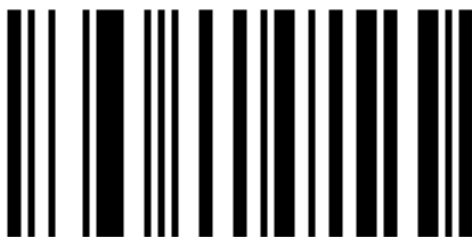
0



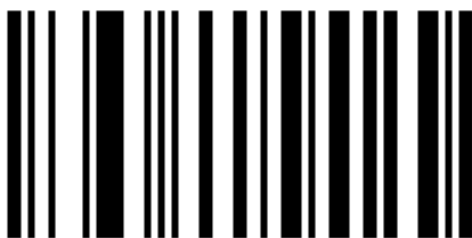
1



2



3



4



5



6



7



8



9

バーコードをキャンセル

選択を変更するか、間違った入力をキャンセルするには、下のバーコードをスキャンしてください。



セットアップコード：キャンセル

11.7 エンジンキャラクターテーブル

文字検索テーブル

デコードされたデータにプレフィックスとサフィックスを追加する場合は、次の手順に従って文字値を選択します。

1. 出力データ転送形式 (パラメータ 0xE2) を希望のオプションに設定します。

2. 表に従って設定する ASCII コード値を問い合わせ、プレフィックス (0x69)、サフィックス 1(0x68)、またはサフィックス 2(0x6A) に 16 進数で入力します。

文字比較表（制御文字）

スキャン値	16 進数値	キャラクター	キーボードのファンクションキー操作	キーボード Ctrl キーの組み合わせ操作
1000	00h	NUL	Null	CTRL 2
1001	01h	SOH	Keypad Enter	CTRL A
1002	02h	STX	Caps lock	CTRL B
1003	03h	ETX	Right Arrow	CTRL C
1004	04h	EOT	Up Arrow	CTRL D
1005	05h	ENQ	Null	CTRL E
1006	06h	ACK	Null	CTRL F
1007	07h	BEL	Enter	CTRL G
1008	08h	BS	Left Arrow	CTRL H
1009	09h	HT	Horizontal Tab	CTRL I
1010	0Ah	LF	Down Arrow	CTRL J
1011	0Bh	VT	Vertical Tab	CTRL K
1012	0Ch	FF	Delete	CTRL L
1013	0Dh	CR	Enter	CTRL M
1014	0Eh	SO	Insert	CTRL N
1015	0Fh	SI	Esc	CTRL O
1016	10h	DLE	F11	CTRL P
1017	11h	DC1	Home	CTRL Q
1018	12h	DC2	Print Screen	CTRL R
1019	13h	DC3	Backspace	CTRL S
1020	14h	DC4	tab+shift	CTRL T
1021	15h	NAK	F12	CTRL U
1022	16h	SYN	F1	CTRL V
1023	17h	ETB	F2	CTRL W

スキャン値	16 進数値	キャラクター	キーボードのファンクションキー操作	キーボード Ctrl キーの組み合わせ操作
1024	18h	CAN	F3	CTRL X
1025	19h	EM	F4	CTRL Y
1026	1Ah	SUB	F5	CTRL Z
1027	1Bh	ESC	F6	CTRL [
1028	1Ch	FS	F7	CTRL \
1029	1Dh	GS	F8	CTRL]
1030	1Eh	RS	F9	CTRL 6
1031	1Fh	US	F10	CTRL -
1032	20h	(空間)	Space	Space

文字比較表（可視文字）（続きの表）

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1033	21h	!
1034	22h	'
1035	23h	#
1036	24h	\$
1037	25h	%
1038	26h	&
1039	27h	'
1040	28h	(
1041	29h	)
1042	2Ah	*
1043	2Bh	+
1044	2Ch	,
1045	2Dh	-
1046	2Eh	.
1047	2Fh	/
1048	30h	0
1049	31h	1
1050	32h	2
1051	33h	3
1052	34h	4
1053	35h	5
1054	36h	6
1055	37h	7

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1056	38h	8
1057	39h	9
1058	3Ah	:
1059	3Bh	;
1060	3Ch	<
1061	3Dh	=
1062	3Eh	>
1063	3Fh	?
1064	40h	@
1065	41h	A
1066	42h	B
1067	43h	C
1068	44h	D
1069	45h	E
1070	46h	F
1071	47h	G
1072	48h	H
1073	49h	I

次のページに続く

表 4 - 前のページからの続き

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1074	4Ah	J
1075	4Bh	K
1076	4Ch	L
1077	4Dh	M
1078	4Eh	N
1079	4Fh	O
1080	50h	P
1081	51h	Q
1082	52h	R
1083	53h	S
1084	54h	T
1085	55h	U
1086	56h	V

スキャン値	16進数値	キーボードのファンクションキー操作
1087	57h	W
1088	58h	X
1089	59h	Y
1090	5Ah	Z
1091	5Bh	[
1092	5Ch	\
1093	5Dh	]
1094	5Eh	^
1095	5Fh	- ,
1096	60h	
1097	61h	a
1098	62h	b
1099	63h	c
1100	64h	d
1101	65h	e
1102	66h	f
1103	67h	g
1104	68h	h
1105	69h	i
1106	6Ah	j
1107	6Bh	k
1108	6Ch	l
1109	6Dh	m
1110	6Eh	n
1111	6Fh	o
1112	70h	p
1113	71h	q
1114	72h	r
1115	73h	s

次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

スキャン値	16 進数値	キーボードのファンクションキー操作
1116	74h	t
1117	75h	u

スキャン値	16 進数値	キーボードのファンクションキー操作
1118	76h	v
1119	77h	w
1120	78h	x
1121	79h	y
1122	7Ah	z
1123	7Bh	{
1124	7Ch	
1125	7Dh	}
1126	7Eh	~
1127	7Fh	Undefined

1128 から 1255 までの値も設定できます。SSI には 16 進数値 80h ~ FFh が使用されます。

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。